



中部本社報道課

伊垢離 真奈 (2023年入社)

読者の皆さんにとって読む価値のある記事の執筆に挑戦しています。出来事を客観的に捉え、正しい情報を届けることはもちろんですが、関わる人たちの思いも伝わるように取材の仕方や文の構成など試行錯誤中です。



本社販売部

竹本 直斗 (2023年入社)

僕がこれから挑戦したいことは、新聞の魅力若者に伝えることです。新聞社に入ってからのたくさんの新聞の魅力について学びました。それらを若者に伝えることで、若者にも新聞を読む文化を広めていきたいです。

地域の活性化に 日々挑戦しています

本社(鳥取市)、中部(倉吉市)、西部(米子市)の3本社と但馬、東京、大阪など県内外6支社局に社員を配置。報道・編集部門だけではなく、企業や自治体をPRする広告部門、スポーツ・文化各種行事を企画運営するイベント部門、販売店管理や読者向けの新聞講座を開催する販売部門など幅広い事業を展開しています。また、ネットオリジナル記事や速報コンテンツが充実した公式HP、スマホやタブレットで日本海新聞を閲覧できる「日本海新聞アプリ」などWEB事業の拡充を積極的に進めています。

インタビュー
動画はこちら▶

ここがアピールポイント!

日本海新聞は全社員が記者の肩書を持っています。私自身も所属は総務部ですが、持っている名刺には「記者」と肩書が入っています。全社員が記者であること、またそれを社員1人1人が共通認識として持っていることで皆で情報を集めて、より詳しく正しい情報を地域の皆さんに提供することができるのがわが社のアピールポイントだと思います。

新日本海新聞社



- ・鳥取市富安2丁目137番地 ・TEL 0857-21-2888 ・設立/1975年12月22日
- ・代表取締役社長/吉岡徹
- ・事業内容/日刊新聞の発行、WEBでのニュース配信、広告プロモーション、イベント企画運営
- ・従業員/220人(2023年11月現在)
- ・職種/編集(報道・整理)、広告企画営業、イベント企画運営、販売店管理、WEBコンテンツ制作・管理、新聞印刷
- ・事業所/本社:鳥取、米子、倉吉 支社:東京、大阪、松江、但馬、境港、広島(支局)
- ・2023年度の採用人数/8人(鳥取商業高校、鳥取短期大学、鳥取環境大学、立命館大学、京都産業大学、都留文科大学)



本社総務部
篠原 杏
(2023年入社)

